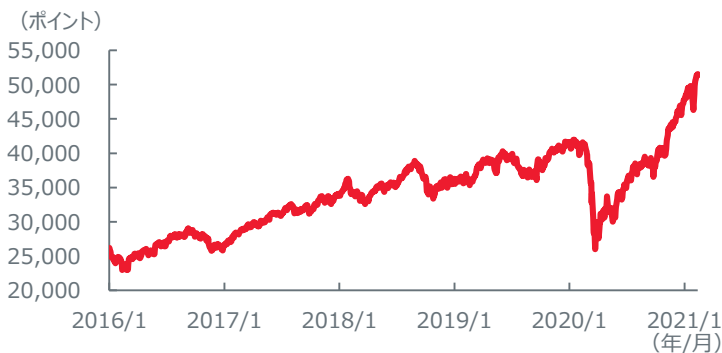


(対象期間：2021/2/1～2021/2/12)

【株式市場】 SENSEX指数の推移
(2016年1月1日～2021年2月12日)

【株式市場】

株式市場は米連邦準備理事会（中央銀行、FRB）による追加経済対策の早期実現期待などを受け、SENSEX指数は過去最高値を更新して始まりました。週の半ばにかけては、高値警戒感や自動車各社の1月販売台数が減少したことなどから利益確定の売りが広がりました。その後はインド軍が中国との係争地域から撤退することで中国と合意したと伝わったことに加え、米ナスダック総合指数が過去最高値を更新したことなどから、SENSEX指数は再び過去最高値を更新しました。

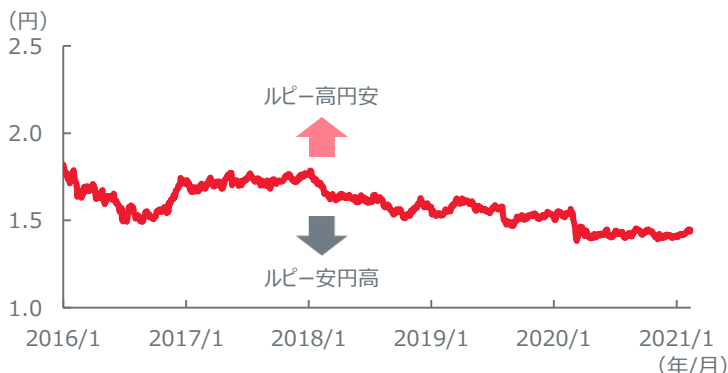
2021/2/5	2021/2/12	変化率
50,731.63	51,544.30	+1.60%

【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2021年2月12日)

【債券市場】

週初は小動きで始まりましたが、その後、インド準備銀行（中央銀行、RBI）は、2021年4月1日に始まる新会計年度で指標利回りを6%前後に抑えるために、3兆ルピー（約4兆3,400億円）超の国債買い入れを目標にすると報じられたことなどを受け、週間で利回りは低下（価格は上昇）しました。

2021/2/5	2021/2/12	変化幅
6.071	5.990	-0.081

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移
(2016年1月1日～2021年2月12日)

【為替市場】

週初はインド国営銀行が、RBIの為替介入と見られる米ドル買いを拡大させたことから、ルピーは米ドルに対して小幅安となりました。その後も為替介入と見られる米ドル買いが上値を抑える局面もありましたが、地政学リスクの緩和や外国人投資家のインド株式の買い越しに加え、輸出業者が米ドル売りを活発化させたことなどを背景に、対米ドルでは約1年ぶりの高値水準となりました。一方、対円では、円高米ドル安の影響によりルピー-安円高となりました。

2021/2/5	2021/2/12	変化率
1.448	1.443	-0.36%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。